

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 2019年10月15日

【四半期会計期間】 第38期第1四半期(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

【会社名】 株式会社コスモス薬品

【英訳名】 COSMOS Pharmaceutical Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 横山 英昭

【本店の所在の場所】 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号  
第一福岡ビルS館4階

【電話番号】 092 - 433 - 0660 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 柴田 太

【最寄りの連絡場所】 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号  
第一福岡ビルS館4階

【電話番号】 092 - 433 - 0660 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 柴田 太

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第1四半期 連結累計期間	第38期 第1四半期 連結累計期間	第37期
会計期間	自 2018年6月1日 至 2018年8月31日	自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2018年6月1日 至 2019年5月31日
売上高 (百万円)	153,534	164,500	611,137
経常利益 (百万円)	7,553	7,532	27,292
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	4,885	5,049	19,185
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,890	5,056	19,182
純資産 (百万円)	112,888	130,256	126,289
総資産 (百万円)	252,470	273,737	273,561
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	246.73	255.05	968.97
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	44.7	47.6	46.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、不安定な国際情勢など先行きが不透明な状況が続きました。また、国内の雇用環境は人手不足により賃金単価が上昇しているにもかかわらず、個人消費は力強さを欠き、消費者の低価格志向はますます強くなっております。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって「安くて、近くて、便利なドラッグストア」を目指して力を注いでまいりました。加えて、「毎日安い(エブリデイ・ロー・プライス)」政策を忠実に実行することで物流や店舗作業の平準化を行い、ローコストオペレーションの更なる推進を図りました。これにより価格競争力を高め、ご来店いただくお客様に「高品質な商品をより安く」販売できるように努めてまいりました。

出店戦略につきましては、自社競合による一時的な収益性の低下も厭わず、次々と新規出店を行いました。同時に、新商圏への店舗網拡大も図ってまいりました。これにより、新規出店につきましては、中部地区に3店舗、関西地区に9店舗、中国地区に2店舗、九州地区に2店舗、合計16店舗となりました。また、スクラップ&ビルドにより1店舗を閉鎖し、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は1,008店舗となりました。

なお、当社グループは事業区分が単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,645億円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益は70億23百万円(同0.4%増)、経常利益は75億32百万円(同0.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億49百万円(同3.4%増)となりました。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,737億37百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億76百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が6億97百万円、商品が17億95百万円減少し、有形固定資産が24億77百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は1,434億81百万円となり、前連結会計年度末に比べて37億90百万円減少いたしました。この主な要因は、未払法人税等が23億13百万円、長期借入金が3億71百万円、その他流動負債(未払金等)が11億24百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は1,302億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて39億67百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(出店・閉店の状況)

(単位：店舗)

地区	2019年5月期末 店舗数	出店数	閉店数	純増数	2020年5月期 第1四半期末 店舗数
関東地区	3	-	-	-	3
中部地区	34	3	-	3	37
関西地区	133	9	-	9	142
中国地区	167	2	-	2	169
四国地区	111	-	-	-	111
九州地区	545	2	1	1	546
合計	993	16	1	15	1,008

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	59,600,000
計	59,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2019年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,000,400	20,000,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	20,000,400	20,000,400		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年6月1日～ 2019年8月31日		20,000,400		4,178		4,610

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,792,400	197,924	
単元未満株式	普通株式 7,200		1単元(100株)未満株式
発行済株式総数	20,000,400		
総株主の議決権		197,924	

(注) 単元未満株式欄の普通株式には、自己株式34株が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社コスモス薬品	福岡市博多区博多駅東二 丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階	200,800	-	200,800	1.00
計		200,800	-	200,800	1.00

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,022	18,324
売掛金	398	242
商品	53,090	51,295
貯蔵品	199	209
その他	7,674	8,012
流動資産合計	80,385	78,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	133,181	135,113
土地	21,964	23,705
その他(純額)	17,670	16,476
有形固定資産合計	172,816	175,294
無形固定資産	287	272
投資その他の資産		
敷金及び保証金	13,106	13,178
建設協力金	3,803	3,754
その他	3,162	3,151
投資その他の資産合計	20,071	20,084
固定資産合計	193,176	195,652
資産合計	273,561	273,737
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	110,796	110,787
1年内返済予定の長期借入金	1,486	1,486
未払法人税等	5,001	2,687
店舗閉鎖損失引当金	104	109
その他	15,781	14,656
流動負債合計	133,170	129,727
固定負債		
長期借入金	7,061	6,689
退職給付に係る負債	1,005	1,046
資産除去債務	1,642	1,662
その他	4,392	4,354
固定負債合計	14,101	13,753
負債合計	147,272	143,481



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	117,829	121,790
自己株式	238	238
株主資本合計	126,380	130,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
退職給付に係る調整累計額	92	86
その他の包括利益累計額合計	91	84
純資産合計	126,289	130,256
負債純資産合計	273,561	273,737

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)
売上高	153,534	164,500
売上原価	122,874	131,454
売上総利益	30,660	33,045
販売費及び一般管理費	23,664	26,022
営業利益	6,995	7,023
営業外収益		
受取利息	17	16
受取手数料	170	173
不動産賃貸料	308	311
固定資産受贈益	72	85
その他	145	122
営業外収益合計	715	710
営業外費用		
支払利息	20	18
不動産賃貸原価	114	120
その他	22	62
営業外費用合計	157	201
経常利益	7,553	7,532
特別損失		
固定資産除却損	34	23
災害による損失	1 320	1 29
店舗閉鎖損失	4	3
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7	46
特別損失合計	367	103
税金等調整前四半期純利益	7,185	7,428
法人税等	2,300	2,379
四半期純利益	4,885	5,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,885	5,049

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)
四半期純利益	4,885	5,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整額	5	5
その他の包括利益合計	5	6
四半期包括利益	4,890	5,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,890	5,056

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 災害による損失

前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

災害による損失は、「平成30年7月豪雨」等による損失を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

災害による損失は、2019年8月 長崎県・佐賀県・福岡県に発生した大雨等による損失を計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
減価償却費	3,061百万円	3,255百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年8月24日 定時株主総会	普通株式	890	45.0	2018年5月31日	2018年8月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年8月23日 定時株主総会	普通株式	1,088	55.0	2019年5月31日	2019年8月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

当社グループは医薬品・化粧品等の小売業という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

当社グループは医薬品・化粧品等の小売業という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
1株当たり四半期純利益	246円73銭	255円05銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	4,885	5,049
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	4,885	5,049
普通株式の期中平均株式数(株)	19,799,567	19,799,566

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年10月10日

株式会社コスモス薬品  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	竹之内	高司	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	濱村	正治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コスモス薬品の2019年6月1日から2020年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コスモス薬品及び連結子会社の2019年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。